

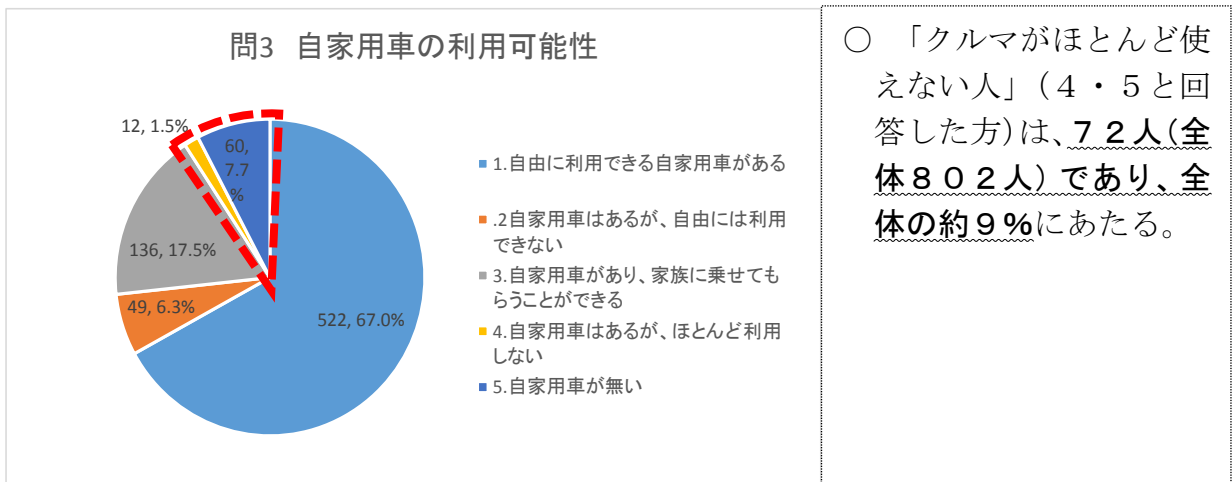
■ 「清須市公共交通に関する意識調査」分析結果

1 趣旨

- 単純集計では、サンプルの多くが「クルマ（自家用車）が使える人」となっており、その意識の方に偏った結果が出てくることから、ここでは「クルマがほとんど使えない人」に注目して集計した結果のうち主なものを示す。

2 分析結果

(1) 「クルマがほとんど使えない人」（72人）を対象に分析



① 問6-2 自宅の最寄りバス停から「あしがるバス」を利用しますか。

- ・ 普段から利用：14人
 - ・ 車やタクシーなどの利用ができないときに利用：3人
- 上記を合わせると 17人【23.6%】（全体は6.6%）

→ クルマが使えない人は相対的にあしがるバスを利用している

② 問6-1 「あしがるバス」についてどの程度知っていますか。

- ・ あしがるバスの存在しか知らない：16人
 - ・ 全く知らない（アンケートで知った）：3人
- 上記を合わせると 19人【26.4%】（全体は36.2%）

→ クルマが使えない人の方が相対的にあしがるバスを認知している

→ なお、知っているのは、自宅の最寄りバス停（44人）、運賃（37人）が多く、運行時刻（19人）、路線・運行ルート（20人）は、あまり知られていない（回答割合は全体と同じ傾向）

→ クルマが使えない人の4分の1程度しかあしがるバスを利用しておらず、4分の1程度はあしがるバスの認知もしていない状況

→ クルマが使えない人に対する訴求が不足しているので、分かりやすく説明する必要がある

③ 問1 普段の外出について

ア 移動に対する不満について

- ・ 駅：8人、病院：6人、買い物：10人、公的機関：6人

→ 全体に比べて買い物への不満が強い

(全体：4.9%、クルマを使えない人：13.9%)

イ 行っている病院

- ・ 名鉄病院：18人、名古屋第一赤十字病院（中村日赤）：2人

→ 全体では、中村日赤（85人）は、名鉄病院（153人）の半分強であり、これはクルマを使えない人（公共交通が不便な人）は、中村日赤には行っていないことを示す

ウ 行っている買い物先

- ・ ヨシヅヤ清洲店：18人【25%】（全体は33.5%）のうち、12人がクルマ送迎
- ・ その他の買い物先への交通手段は、徒歩・自転車が多い

→ クルマを使えない人はヨシヅヤに行きづらく、不満を持っている

→ あしがるバスでヨシヅヤに行きやすくすると、もっと利用される可能性あり

④ 問6-5 どうすれば「あしがるバス」を今よりも利用したいと思いますか。

- ・ 本数が増える：34人【47.2%】
- ・ 利用したい時間帯の便が運行する：15人【20.8%】
- ・ 目的地への路線ができる：13人【18.1%】
- ・ 運賃が安くなる：2人（50円）【3.8%】

→ 本数増の回答が多いのは、全体の傾向と変わらない

(全体では、本数増：223人【27.7%】が圧倒的に望まれている)

⑤ 問6-6 「あしがるバス」が利用しやすくなったら、どこにどのくらいの頻度で行きたいと思いますか。

- ・ 回答で多いのは「ヨシヅヤ清洲店」だが、それでも8%ほど。その他の回答はバラバラである
- ・ 春日地区はJR駅（清洲、稲沢）が多数であり、その他は傾向なし（市外が多い）

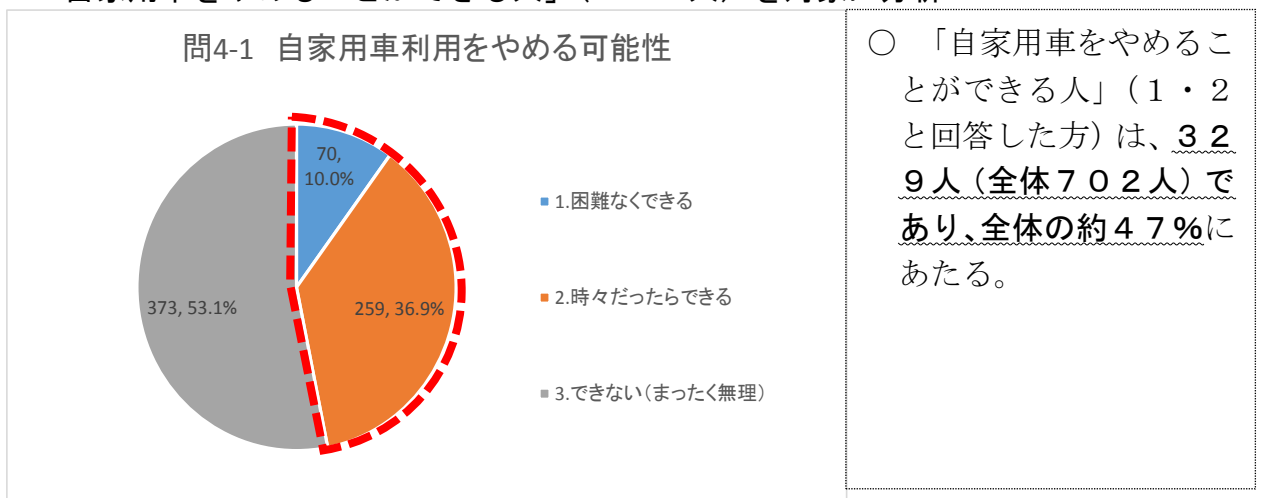
→ 「ヨシヅヤ清洲店」以外には駅へのアクセス（市外に行きやすい）が重要

⑥ **問16** 「あしがるバス」を含めた公共交通の充実には、多くの市費の投入が必要となります。今後、市はどのように対応していけばよいと思いますか。

- ・たとえ不便になっても運行経費を抑制すべき：7人【9.7%】
- ・現状を維持すべき：27人【38%】
- ・経費を増額してでも利便性向上を目指すべき：13人【18%】
- ・わからない：25人【32%】

→ 回答の割合は、全体の傾向と変わらない（抑制すべき：11.0%、現状維持：37.3%、増額すべき：21.3%、わからない：30.4%）

(2) 「自家用車をやめることができる人」（329人）を対象に分析



① 「自家用車をやめることができる」と答えた方（329人）のうち、あしがるバスを普段から利用している方（**問6-2**で、普段から利用、車やタクシーが使えないときにあしがるバスを利用していると回答した方）は15人【4.5%】

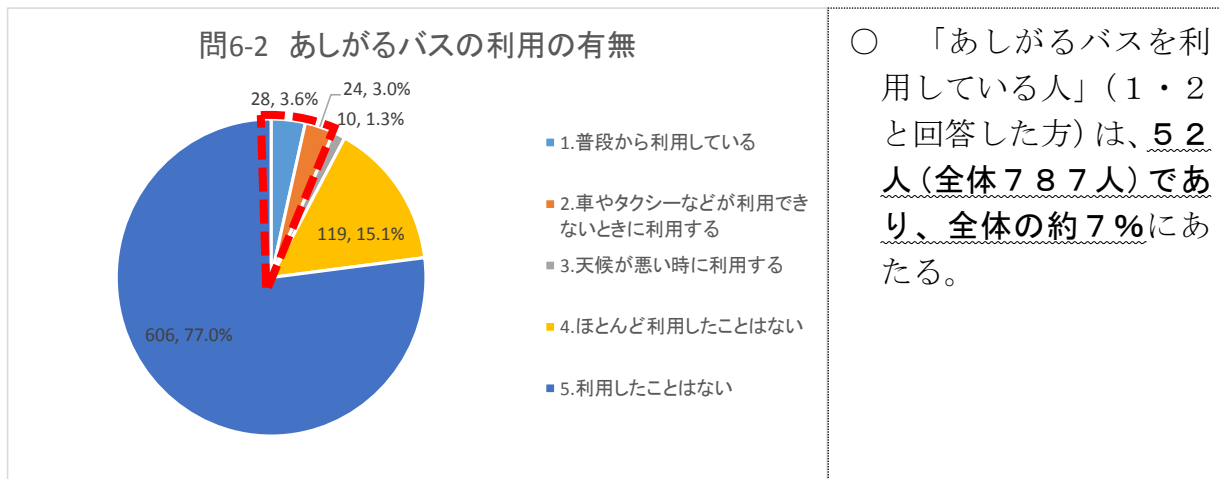
→ 「自家用車をやめることができる」と回答している人でも、あしがるバスにはほとんど乗ってもらえない

② 「自家用車をやめることができる」と答えた方（329人）のうち、どうすればあしがるバスを利用したいと思いますか（**問6-5**の回答）

- ・本数が増える：93人【28.3%】
- ・利用したい時間帯の便が運行する：39人【11.9%】
- ・目的地への路線ができる：42人【12.8%】
- ・運賃が安くなる：6人（0円もしくは50円）【1.8%】

→ 回答割合は、全体の傾向と変わらない

(3) 「あしがるバスを利用している人」(52人)を対象に分析



① 「あしがるバスを利用している」と答えた方(52人)のうち、どうすればあしがるバスを利用したいと思いますか(問6-5の回答)

- ・本数が増える：42人【80.8%】
- ・利用したい時間帯の便が運行する：19人【36.5%】
- ・目的地への路線ができる：10人【19.2%】
- ・運賃が安くなる：1人(50円)【1.9%】

→ 回答割合は、全体の傾向と変わらない